

生物学的同等性試験

アラセプリル錠 12.5mg 「日医工」

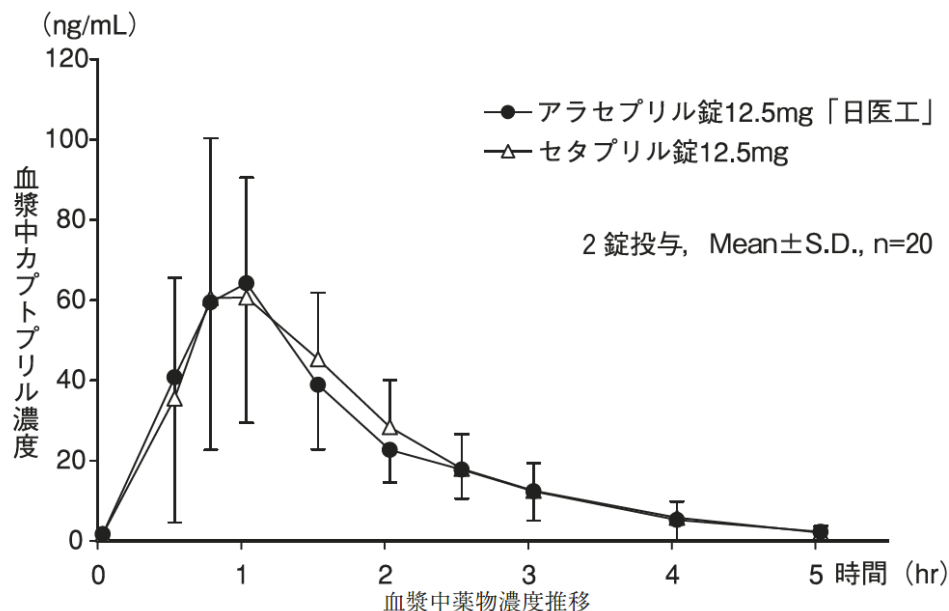
アラセプリル錠 12.5mg 「日医工」 及びセタプリル錠 12.5mg を、クロスオーバー法によりそれぞれ2錠（アラセプリルとして 25mg）健康成人男子に絶食単回経口投与して活性代謝物であるカプトプリルの血漿中濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC、Cmax）について90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.8) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

薬物動態パラメータ

※MRT：平均滞留時間

	判定パラメータ		参考パラメータ		
	AUC _{0→5} (ng·hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	MRT* (hr)	t _{1/2} (hr)
アラセプリル錠 12.5mg 「日医工」	101.44 ± 30.13	76.45 ± 33.06	1.00 ± 0.43	1.52 ± 0.44	0.85 ± 0.36
セタプリル錠12.5mg	105.16 ± 35.97	73.47 ± 33.32	0.98 ± 0.33	1.54 ± 0.30	0.92 ± 0.52

(2錠投与, Mean ± S.D., n = 20)



血漿中濃度並びに AUC, Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。